都立競技施設整備に関する諮問会議（第1回）

議事概要

日時 平成27年10月9日（金）

10:15～11:45

会場 東京国際フォーラム G701 会議室

1 開 会

○舛添知事あいさつ（要旨）

- 2020年大会は通過点。大会開催のおかげで、レガシーとして都民がスポーツ等を楽しめる施設ができてよかったと思えるものを残したい。駒沢公園が残ったのは、1964年大会のおかげ。50年後、こんな素晴らしい施設ができたと言ってもらえるようなものを作りたいと思う。
- 新国立競技場の問題ではコストの抑制が前面に出ているが、都が整備する施設は、“安かろう、悪かろう”ではなく、良い施設になるよう柔軟性を持ちたい。都民も説明すれば納得してもらえる。そういう観点から専門のみなさんのご意見をいただきたい。
- 都民が“自分たちが一緒に作る”と思えるためには、情報の公開が必要。契約情報に係る制約はあるのはご理解いただきたいが、ある程度まとまったところで 定例会見の場で私からお伝えする。
- 都民が2020大会のおかげで、こんな素晴らしいレガシーが残った、と言ってもらえるようにしたい。忌憚のないご意見をいただきたい。

○ 委員あいさつ・座長の選任

- 委員互選により、橋本委員を座長に選任
- 座長により、深尾委員を座長の職務代理に指名

○ 会議の目的、進め方等の確認

- ・資料 2～資料 3 により、会議の目的、対象施設、進め方等を説明

2 議 事 (進行：座長)

○ 基本設計の概要等について

- ・「オリンピックアクアティクスセンター」について、資料 7 により説明
- ・「有明アリーナ」について、資料 7 により説明
- ・「海の森水上競技場」について、資料 7 により説明

○ 主な意見等

(3施設に共通の意見)

- ・将来にわたり都民に喜ばれる施設にするためには、周辺とのつながりや、後利用をふまえた全体的な視点から妥当性を評価することが重要である。
- ・大会前後の輸送計画、隣接する公園の全体整備計画、大会後の利用計画を次回までに示していただきたい。
- ・水際線の取扱い、周辺計画との調和、施設の環境配慮水準、バリアフリーの対応水準についても示していただきたい。
- ・地震発生時、慣れていない外国の方はパニックになる恐れがある。耐震性だけでなく、外国の方が安心できるよう配慮すべき。例えば案内板、天井の揺れなど仮設も本設に近い形で、耐震性を考えてほしい。
- ・基本設計の段階で、競技団体の意見を取り入れたと思うが、指導者やアスリート目線という点では、今存在する競技場を見ても抜け落ちているものは多いと気づく。例えば、ある競技場は、トラックは素晴らしいが、ゴール後、義足のスパイクを履いた選手が荷物を取りに行くところがタイル張りのスロープのためそこに行けない。トップアスリートは世界中の競技場を見てきている。その中で“東京にこんな競技場が欲しい”よりも、苦情や不満など聴いたら良いと思う。“こんな競技場は嫌だ”などの不満の声を聴いていけば抜け落ちがなくなると思う。
- ・競技団体や上層部の人たちは「運営」のことを考えがちだが、アスリー

トの声も汲み取って、設計者にも情報を与え、検討してもらいたい。

- 会場は、運河、海といったように全て水辺にある。江戸、東京の水辺の文化が大いに発揮できるロケーションである。
- 華美にならないという意識働いているかもしれないが、水辺を活かした華やかな建物や、それだけでなく、周辺にもレガシー残るようにしてほしい。そして、水辺の都市東京を世界にアピールしてほしい。
- 北京では、テレビ放映権の関係で競技時間が遅いが、終了後の施設（食事）がなかった。興奮を感じた後に、皆が楽しめる施設がない。
- 施設は立派でも、夜、終了後は真っ暗でどこへ行ったらいいかわからない、というのはたくさんある。施設・建物そのものだけでなく、こうした部分でレガシーとなるのかを検討してもらいたい。
- 情報公開についてできるだけ広くやっていただきたい。
- 情報公開については、しっかりと説明し、単に競技の規格にあっているだけでなく、競技者がそこでやってみたい、と若い人が思えるようなものができるといことなどをアピールすると良い。
- 世界中に日本の良さ、東京の良さをアピールしていくといったメディア目線も大事である。

（「海の森水上競技場」についての意見）

- 海の森公園と水上競技場の連携を考えてほしい。
- 自転車利用の空間は一体性を確保してほしい。
- 大会後、日常的にどのように利用するのかを示してほしい。
- 土木構築物にもデザインを考えるべきである。水門など東側の締切堤は手すりをデザイン募集して残すなども考えられる。皆が注目して、参加して、意見が言えて残る、こうした企画（デザイン募集など）をしないと離れた場所にあるので行きづらい。メモリアルとして何かあると思い出になる。
- 多くのお金をかけなくてもできる、小さな企画を積み重ねるといった視点で検討してほしい。

(「アクアティクスセンター」についての意見)

- 辰巳水泳場と辰巳の森海浜公園等との再整備計画と調整をすることが重要である。
- 夢の島公園との一体整備の視点で考えてほしい。
- 大空間であり、後利用時の空調、換気等を配慮する必要がある。
- 来場者が、夜帰ることを考えてほしい。また、炎天下歩かされるということも、ぜひ考えてほしい。食べたり、飲んだり、といった部分の華やかさを入れないと盛り上がらない。
- 大階段の先がサブプールでぶつかるというのは安全性の面で検討が必要である。後利用も考えると、明るく、子供たち達も外の景色が見えて楽しめるよう、検討をしてほしい。

(「有明アリーナ」についての意見)

- 体操競技場との連携を配慮してほしい。
- 利用形態が大会時とレガシー時で違うため、しっかり検討することが重要である。
- 海側にある3階のコンコースは暗い。音響面での対応も考える必要があるが、検討してほしい。
- フローティングのシアターやレストラン、レガシーとして水上レストランなど、海辺の素敵な空間にしていきたい。

(座長より)

- 追加意見があれば、事務局に伝えていただきたい。
- 実施設計、工事、全体計画に反映できるものは反映をしていただきたい。

3 その他

- 事務連絡／閉会